

こんにちは 名張市議会日本共産党議員団です

NO,6 2023年 10月・11月



9月定例議会報告

令和4年度 名張市一般会計決算

5億円 の黒字

コロナ禍と物価高騰対策の
地方創生臨時交付金

この収入が
増えています

名張市独自課税の
固定資産税の増税（継続）

物価高騰対策として、国は「子育て世帯
臨時特別給付金」「子育て世帯生活支援
特別給付金・給付事業補助金」を交付
しています。

この状況下で名張市は市民生活を返り見
ることなく、固定資産税の増税を継続し
ています。収入、所得に関係なく、持ち家
等があれば徴収されます。名張市は持
ち家率が高く、特に若い子育て世代の家は比
較的新しく固定資産税の負担が家計に重く
のしかかって
います。



希望の持てる新しい名張市財政運営へと
転換するよう求め提案していきます

少子高齢化が深刻な時代、次世代を担う全ての子どもを大事にすることが重要です。

産み育てるに優しいまち名張の充実を 現役世代の定住人口を増やしていく本気の取り組みを求めます

●猛暑、酷暑で空調整備がされていない 体育馆や格技場などへの対応を

他市で体育の授業の後や部活で熱中症による死亡が
起きています。児童・生徒の命を守る緊急の対
策が必要です。学校や児童・生徒の状態を把握し、
学校からも困っていることが上げやすい環境にし
「お金がないからできません」という言葉で必要な
物が用意できないとか、検討する知恵さえも働
かせない市政運営から脱却しなければなりません。

●学童保育への対策を

学童保育の夏休み中の受け入れ（スポット）への対策
も、何年も課題のままで解決策が出されていません。
このままでは保護者は安心して子育てができません。



三重県立名張高等学校との懇談

10月2日（月）、三重県立
名張高等学校の新聞部を中心とした生徒の皆さんと議
会広報特別委員会が議会だ
よりについて意見交換を行いました。

生徒から「夢を叶えるために名張高校
に入学した。」「編集に興味があって新
聞部に入部した。」など希望溢れる話を
聞かせてもらいました。

未来を担う現役高校生と意見交換が
できたことは非常に貴重な体験となりま
した。

若者が真っ直ぐ見つめる夢や希望を政治

が潰してはならない。

誰もが希望をもって生活ができ、安心し
て夢を追いかけることができる名張市に
しなければならない。

胸を張って次の世代にバトンを渡すこ
とが少し先に行く私たちの責任だと強く感
じました。

物怖じせずはっきりと意見を云う高校生
を間近に見て、名張市には将来有望な若
者がたくさん育っていると感じました。
若者の声もしっかりと市政に反映させ、
皆さんと力を合わせて「すみよい名張」
をつくることに全力を尽くしていきます。

子ども医療費助成は所得制限の撤廃を!!

【名張市議会YouTube配信
・決算質疑と答弁 9月15日再生ポイント1:20~】

●少子化対策からも所得制限の撤廃を

昨年の日本の出生数は80万人を割り込み、出生率は過去最低の1.26
人（厚労省人口統計）となっています。

児童手当をはじめ、子育て・教育支援には所得制限があります。子育
て世帯は働いて所得に応じた税金を納め、子育てに係る支援が受けられ
ない事態です。また世帯主の所得金額を基準とすることで不公平・
不合理もあります。



所得制限の撤廃を検討する

「子どもの権利条約」 生命、生存及び発達に対する権利 (命を守られ成長できること)

すべての子どもの命が守られ、もって
生まれた能力を十分に伸ばして成長でき
るよう、医療、教育、生活への支援
などを受けることが保障されます。

しかし、名張市の子ども医療
費助成制度は所得制限があり
ます。（扶養親族1人の場合、
保護者の所得額660万円）

全ての子どもの人権保障が目
的です。保護者の所得に左右
されるものではありません。

名張市立病院の働く環境改善を!!

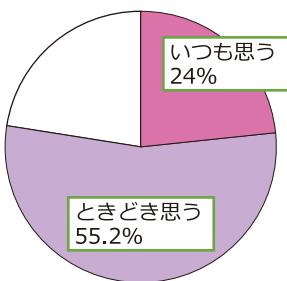
【名張市議会 YouTube 配信】

・決算特別委員会 9月20日 再生ポイント40:30~】

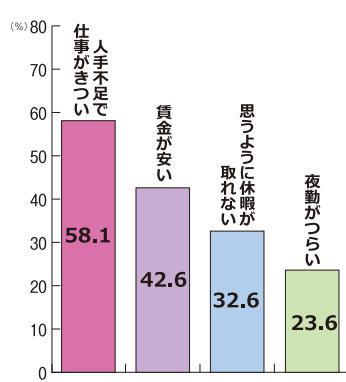
コロナウイルス感染症の5類移行と第9波、インフルエンザと同時流行で、医療従事者は限界。医療崩壊の危機が懸念されます。

日本医療労働組合連合会 「2022年看護師の労働実態調査」 10月~12月 回収数(35,933人分)

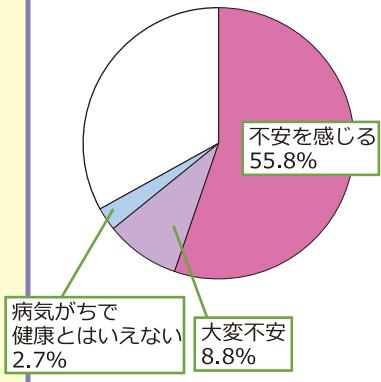
■あなたは仕事をやめたいと思うことがありますか



■仕事を辞めたいと思う主な理由



■健康状態はどうですか



三原の質問

名張市立病院の看護師も例外ではない。同じ様な思いを抱えているのではないか。

市立病院を受診した市民から、「医師も看護師も疲れ切っている様子。病院内が上手くまわっていないのではないか」との声がある。昨年は21人の看護師の退職者があった。

市立病院副院長の答弁

救急を受け入れ、コロナ患者の受入れもあり看護師の負担が重くなっている。



経営形態を変えれば病院の経営が改善される、というものではありません。このまま独立行政法人化（非公務員化）を進めることで離職が進めば、救急も外来も受け入れができなくなります。

名張市立病院の経営改善のために、まずは職員の声を聞き、安心して働ける環境に改善すること。ハラスメントは許されません。

市民に親しまれ信頼される病院

市立病院の理念の実行を!

【名張市議会 YouTube 配信】

・一般質問 9月11日

再生ポイント10:30~】



高齢化が進む中で市立病院は重要で、安心の子育てのためにも、小児救急もなくてはなりません。住み続けられるまちとして欠かせないものです。

名張市立病院が日常的に市民（住民）の命と健康を守る、身近な病院であることが求められています。

三原の提案

1 救急を守る

2 がん外来を設置し、三重大と連携して早期発見と治療につなげる

3 名賀医師会と十分に協議をし、紹介・逆紹介を推進する。初診料の7700円を無くす。

4 在宅診療（往診）の対応

5 1~4の医療を実施するためにも、市民の声を反映（議会の関与）でき、病院の経営の自主性も發揮できる、**公営企業法全部適用**を提案します。

公営企業法全部適用とは、市長が病院事業管理者を任命し、財務や会計に関する規定、予算原案や議案等を作成する権限や職員の任免その他身分の取り扱いの権限などを移行することで、機動的・弾力的な運営を行うことが可能です。（名張市直営、職員は公務員）

200床の同規模の病院で独立行政法人化により経営改善を果たした病院事例はありません。

同規模の市立病院、直営で経営改善を果たした坂出市立病院、市立芦屋病院に視察にいきました。（三原じゅん子名張 HPで詳細報告）。



三原の質問

今やるべきことは、市民・患者と職員の声を基に病院の改革を進めていくことです。市民不在で独立行政法人化を決定すべきではありません。

市立病院副院長の答弁

名張市立病院にあった経営改革を進める。独立行政法人化を決定する前に、議会などに説明し意見を聞く。